

和光市史進捗状況（取材・ヒアリング等）について

2021. 1. 26 現在 ぎょうせい

市長の発案により、12月には元市議会議員、元県議、商工会長等の重鎮に集中的にヒアリングを実施した。

①ヒアリング8 12月15日

取材対象者：神杉一彦氏 元埼玉県議会議員（2001-2011）

中心となった内容は、越後山土地区画整理事業について。

「終わらない区画整理事業」をコンセプトに、ハードにとどまらず区画整理完了後のソフトの部分、つまりまちづくりまで含めての取り組みについて詳しく話を伺った。

「和光市の現在をうつつだす」における「6 変わりゆく街のすがた」などの参考にしたい。

②ヒアリング9 12月16日

取材対象者：斉藤和康氏 和光市商工会長

商工会の取り組みに加え、主として昭和末期から平成初期、有楽町線、丸山台土地区画整理事業、外環開通の時代における和光市の変貌について詳しく語っていただいた。

「和光市の平成をたどる」や「和光市の現在をうつつだす」の「2 経済の成長と低迷」などの参考とする。

③ヒアリング10 12月17日

取材対象者：野木実氏 元和光市長（2001-2009）

主として市長在任中の大きなテーマであった合併問題、市民参加のまちづくり、総合体育館、教育の拡充などについて。

「和光市の平成をたどる」や「和光市の現在をうつつだす」中の「市政の担い手の方向性」の参考とする。

④ヒアリング11 12月18日

取材対象者：元市議会議員の4人。

塚原利彦氏（1998. 6-1999. 4）、柳下長治氏（2003. 5-2004. 6）、

堀文雄氏（2004. 6-2007. 4）、山口慶子氏（2008. 9-2009. 9）

塚原氏・・・白子川の環境整備事業、松ノ木島土地区画整理事業、循環バスなど

堀氏・・・総合福祉会館、鍋合戦、保養所の削減、議員定数の削減など

山口氏・・・議会改革、地区社会福祉協議会の立ち上げなど

柳下氏・・・「地の利」を生かした行政を切り口に、ここ数十年の和光発展の歴史を概観

「和光市の平成をたどる」や「和光市の現在をうつつだす」に該当する箇所の参考とする。

12月25日の議員歴30年以上の田中秀之氏、山本軍四郎氏のヒアリング及び1月14日に予定していた元助役深野敬二氏のヒアリングは、新型コロナウイルスの蔓延・緊急事態宣言を考慮し、延期となった。